

第4編	生活文化、民族・宗教、国家	学習日	名前
		日	月

教科書 P202～ 要点ノート P124～

(1) 人種と民族

【人種】

人間を(1 肌の色 )、毛髪、目の色など身体的特徴で分類 → 先天的なもの

(2 モンゴロイド ) ... 黄色人種、中央アジア～東アジアに多い。南北アメリカの先住民

(3 コーカソイド ) ... 白人、ヨーロッパ、西アジア、南アジア、北アフリカ、南北アメリカ、オーストラリアに多い。

(4 ネグロイド ) ... 黒人、アフリカ大陸中南部に多く居住。奴隷貿易によりアメリカ大陸へ多くが強制的に移動

オーストラロイド ... オーストラリア先住民 (5 アボリジニ )

ポリネシア人種 ... ニューゼーランド先住民 (6 マオリ )

【民族】

人間を、文化的特徴を共有する集団で分類 ... (7 言語 ) (8 宗教 ) (9 習慣 ) など → 後天的なもの、目に見えないもの、不確かなもの、アイデンティティも含む

(10 多民族国家 ) ... 複数の民族により国家が形成される

(11 単民族国家 ) ... 一つの民族により国家を形成

(2) 語族

同一の言語から派生したと考えられている言語の集まり

さらに細かく分類すると語派という

① (12 インド＝ヨーロッパ語族 )

南アジアから西アジア、ヨーロッパで話されている言語

② (13 ウラル語族 ) (14 アルタイ語族 )

ウラル語族はフィンランド語・エストニア語・ハンガリー語などが属する。便宜上アジア系言語と呼ばれることもある。

アルタイ語族はトルコ語、モンゴル語、中央アジアの言語(アゼルバイジャン語、トルクメン語等々)が属する。かつてはウラル＝アルタイ語族と呼んだ。

③ アフロ＝アジア語族

かつてセム＝ハム語族とよび、西アジアから北アフリカにひろまる。ヘブライ語、アラビア語、アムハラ語などがセム語派、その他にベルベル語、エジプト語、ハウサ語(ナイジェリア)などが属する

④ ニジェール＝コンゴ語族

アフリカのサハラ砂漠以南の言語。イボ語、ヨルバ語、フラニ語などナイジェリアの主要民族の言語、スワヒリ語、南アフリカ共和国のアフリカーンス語(オランダ語から派生)と英語以外の公用語

※ 南アフリカの公用語

英語、アフリカーンス語、ズールー語、コサ語、ソト語、ヴェンダ語、ツォンガ語、スワジ語、

南ンデベレ語。なじみのない言語が並んでいますね。南アフリカワールドカップ公式球の「ジャブラニ」はズールー語で「祝う」という意味。

⑤ シナ＝チベット語族

北京語、上海語、広東語などの中国語、チベット語、タイ語、チョワン語、シャン語、ラオ語、ミャオ語、カレン語等

⑥ オーストロネシア語族

マレー語、インドネシア語、タガログ語、ポリネシア諸語

⑦ オーストロアジア語族

ベトナム語、クメール語等

⑧ カフカス語族

グルジア語、チェチェン語等

⑨ ドラヴィダ語族

タミル語等

⑩ 独立している言語

日本語、アイヌ語、朝鮮語、バスク語など

語族は地域で分けることもできる

③、④は西アジアから北アフリカ、サハラ砂漠以南の地域

⑤、⑥、⑦はアジアからオセアニアにかけての地域というように分けられる。

アンゴラ	ポルトガル語
ウガンダ	英語, スワヒリ語
ブルンジ	スワヒリ語, フランス語, ルンディ語
マダガスカル	マダガスカル語, フランス語
モザンビーク	ポルトガル語
モロッコ	アラビア語(公用語), ベルベル語(公用語), フランス語
オマーン	アラビア語
カタール	アラビア語
クウェート	アラビア語
スイス	ドイツ語, フランス語, イタリア語, ロマンシュ語
バチカン	ラテン語
ベルギー	オランダ語, フランス語, ドイツ語
ポルトガル	ポルトガル語, ミランダ語
ルクセンブルク	フランス語, ドイツ語, ルクセンブルク語

第4編	生活文化、民族・宗教、国家	学習日	名前
		日	月

教科書 P202～ 要点ノート P124～

(1) 人種と民族

【人種】

人間を(1) ……、毛髪、目の色など身体的特徴で分類 → 先天的なもの  
 (2) …… 黄色人種、中央アジア～東アジアに多い。南北アメリカの先住民  
 (3) …… 白人、ヨーロッパ、西アジア、南アジア、北アフリカ、南北アメリカ、オーストラリアに多い。  
 (4) …… 黒人、アフリカ大陸中南部に多く居住。奴隷貿易によりアメリカ大陸へ多くが強制的に移動  
 オーストラロイド …… オーストラリア先住民(5) ……  
 ポリネシア人種 …… ニューゼーランド先住民(6) ……

【民族】

人間を、文化的特徴を共有する集団で分類 …… (7) …… (8) …… (9) …… など → 後天的なもの、目に見えないもの、不確かなもの、アイデンティティも含む  
 (10) …… 複数の民族により国家が形成される  
 (11) …… 一つの民族により国家を形成

(2) 語族

同一の言語から派生したと考えられている言語の集まり  
 さらに細かく分類すると語派という

- ① (12) …… )  
南アジアから西アジア、ヨーロッパで話されている言語
- ② (13) …… ) (14) …… )  
ウラル語族はフィンランド語・エストニア語・ハンガリー語などが属する。便宜上アジア系言語と呼ばれることもある。  
アルタイ語族はトルコ語、モンゴル語、中央アジアの言語(アゼルバイジャン語、トルクメン語等々)が属する。かつてはウラル=アルタイ語族と呼んだ。
- ③ アフロ=アジア語族  
かつてセム=ハム語族とよび、西アジアから北アフリカにひろまる。ヘブライ語、アラビア語、アムハラ語などがセム語派、その他にベルベル語、エジプト語、ハウサ語(ナイジェリア)などが属する
- ④ ニジェール=コンゴ語族  
アフリカのサハラ砂漠以南の言語。イボ語、ヨルバ語、フラニ語などナイジェリアの主要民族の言語、スワヒリ語、南アフリカ共和国のアフリカーンス語(オランダ語から派生)と英語以外の公用語
- ※ 南アフリカの公用語  
英語、アフリカーンス語、ズールー語、コサ語、ソト語、ヴェンダ語、ツォンガ語、スワジ語、

南ンデベレ語。なじみのない言語が並んでいますね。南アフリカワールドカップ公式球の「ジャブラニ」はズールー語で「祝う」という意味。

- ⑤ シナ=チベット語族  
北京語、上海語、広東語などの中国語、チベット語、タイ語、チョワン語、シャン語、ラオ語、ミャオ語、カレン語等
- ⑥ オーストロネシア語族  
マレー語、インドネシア語、タガログ語、ポリネシア諸語
- ⑦ オーストロアジア語族  
ベトナム語、クメール語等
- ⑧ カフカス語族  
グルジア語、チェチェン語等
- ⑨ ドラヴィダ語族  
タミル語等
- ⑩ 独立している言語  
日本語、アイヌ語、朝鮮語、バスク語など

語族は地域で分けることもできる

- ③、④は西アジアから北アフリカ、サハラ砂漠以南の地域
- ⑤、⑥、⑦はアジアからオセアニアにかけての地域というように分けられる。

アンゴラ	ポルトガル語
ウガンダ	英語, スワヒリ語
ブルンジ	スワヒリ語, フランス語, ルンディ語
マダガスカル	マダガスカル語, フランス語
モザンビーク	ポルトガル語
モロッコ	アラビア語(公用語), ベルベル語(公用語), フランス語
オマーン	アラビア語
カタール	アラビア語
クウェート	アラビア語
スイス	ドイツ語, フランス語, イタリア語, ロマンシュ語
バチカン	ラテン語
ベルギー	オランダ語, フランス語, ドイツ語
ポルトガル	ポルトガル語, ミランダ語
ルクセンブルク	フランス語, ドイツ語, ルクセンブルク語